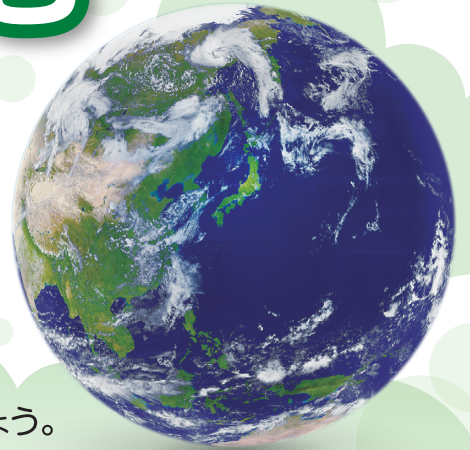


みんなで行く 気候変動対策

農作物編



気候変動はすでに私たちの暮らしに影響を及ぼしています。
気候変動を知り、出来ることから気候変動への対策に取り組みましょう。

那須塩原市の将来予測

●年平均気温の将来予測

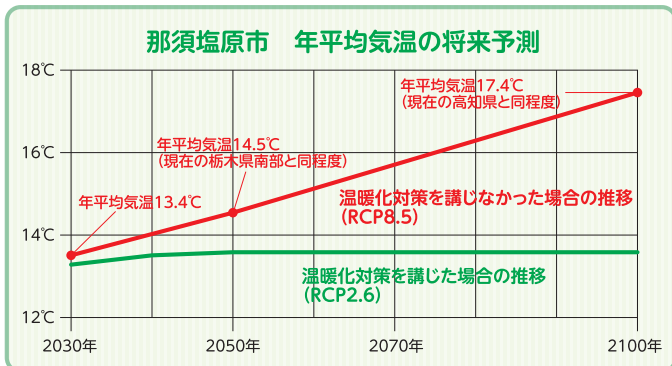
温暖化対策を講じなかった場合

2050年には14.5℃

(現在の栃木県南部と同程度)に上昇

2100年には17.4℃

(現在の高知県と同程度)に上昇



●搾乳量・農作物への影響

気候変動の影響により、乳牛の搾乳量や一部の農作物の収穫量が減少

2050年の搾乳量・収穫量

- 夏場の搾乳量 **2%程度減少** ↓
- ホウレンソウ収穫量 **4%程度減少** ↓
- 水稻収穫量 **4%程度減少** ↓
- ネギ収穫量 **1%程度減少** ↓

※温暖化対策を講じなかった場合

気候変動の仕組み

気候変動への
対策は
大きく2つ

緩和
温室効果ガスの増加
化石燃料の使用による
二酸化炭素の排出など



気候変動
気温上昇(地球温暖化)
降雨パターンの変化
海面上昇など



気候変動の影響
生活、社会、経済
自然環境への影響

緩和

温室効果ガスの排出量を削減する

**2つの
対策**

適応

被害を回避・軽減する

このリーフレットは、相互友好連携協定を結んでいる宇都宮大学と協力して行った
気候変動の影響調査の結果をもとに、作成しました。(2022年3月作成)

那須塩原市気候変動対策局

〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108-2

TEL 0287-73-5651 FAX 0287-62-7500 メール nccac@city.nasushiobara.lg.jp

気候変動への本市の
取組状況はこちらから



気候変動の農作物への影響

那須塩原市は、宇都宮大学と協力して、高原野菜(ホウレンソウ)への気候変動の影響調査を実施しました。

調査結果

- 18℃～30℃の範囲で**発芽率**を研究した結果 **温度が高くなると発芽率が低下**
- 26℃と30℃の環境で、**生育に与える影響**を研究した結果 **温度が高いほうが生産量が低い**

気候変動によって
気温の上昇が進むと、
特定の野菜が
栽培できなくなるかも

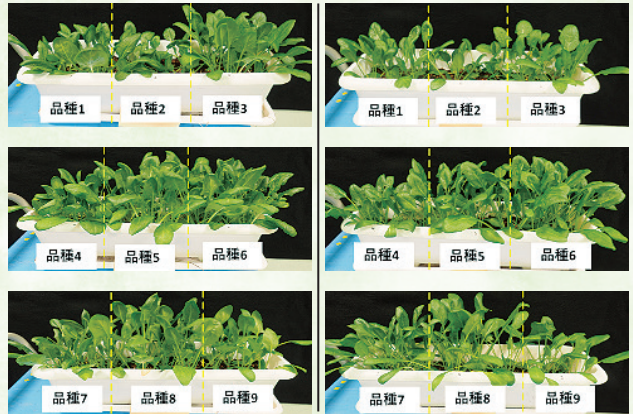


品種	最適種子播種時期
1	2～5月
2	4～8月
3	7～9月
4	7～9月
5	7～9月
6	7～9月
7	9～11月
8	9～11月
9	9～12月

影響調査の対象品種一覧

品種	18℃	22℃	26℃	30℃
1	64.0	68.0	44.0	18.7
2	44.0	41.3	13.3	6.7
3	77.3	80.0	53.3	30.7
4	64.0	78.7	34.7	13.3
5	38.7	52.0	20.0	16.0
6	52.0	56.0	25.3	8.0
7	66.7	68.0	14.7	12.0
8	61.3	60.0	16.0	9.3
9	70.7	78.7	37.3	16.0

品種毎の各温度下での発芽率(%)



ホウレンソウの生育状況(左26℃と右30℃)

みんなで取り組む 気候変動対策

気候変動の被害を避ける、小さくする

- 耐暑性の品目・品種への転換
- 栽培計画の見直し
- 農場の排水整備による豪雨対策
- ハウス栽培における遮光シートなどの高温対策資材の検討

<農作業をするときは>

熱中症対策

涼しい時間帯への作業時間の変更
休憩・給水時間の確保



気候変動の原因である 温室効果ガス排出量を少なくする

環境省が、できることから始める、温室効果ガス排出量を少なくする取組として「ゼロカーボンアクション30」を推進しています。

エネルギーを節約・転換しよう!	太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!
CO2の少ない交通手段を選ぼう!	食ロスをなくそう!
サステナブルなファッションを!	3R(リデュース、リユース、リサイクル)
CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう!	環境保全活動に積極的に参加しよう!

食ロスをなくそう!

- **食事を食べ残さない**
適量サイズのメニューを選び、残ってしまった場合はお持ち帰り
- **地元の食材を取り入れた食生活**
地元の食材、旬の食材を意識して購入

ゼロカーボンアクション30を詳しく知りたい方はこちらから

